



会議には4月国労に加入した小林楓さんも参加した（写真前列左2人目）

盛岡から6人の参加で報告・交流

今交流集会に参加するのは——昨年に引き続き2度目でした。が、まず会場に入って思った——

よろしくお

本部が一昨年に発した闘争指令第1号以降組織拡大のウネリは高まり、盛岡地方本部でも昨年の大会以降5名が復帰・加入している。こうした取り組みについて会社の枠を超えて交流すべく「第8回組織強化・拡大経験交流集会」が開催され、6月1・2日には大阪市、22・23日には東京都にてそれぞれ取り組まれてきた。

日本青年館（東京）において開催された「東ブロック経験交流集会」には北海道・東日本を中心には98人が結集し、盛岡からは別記の6人が参加して交流を深めてきた。（参考報告・感想は田端文明八戸運輸分会分長）

組織拡大経験交流集会

組織拡大運動が着実に地道に前进

II 98人の参加で交流、学ぶもの多くII

ことは、20代と思われる方の参加が昨年に比べ増えている——

組織拡大運動が着実に地道ながらも前進していることが感じられました。

田中副委員長から今日までの運動展開の問題点について、

現在の組織拡大運動の取り組み状況は、まだ一部の職場、

一部の分会、一部の機関、一

部の活動家にとどまつてお

り、そこで組織拡大の意

思統一の過程で目標は設定さ

れているが、まだ願望の域を

脱しておらず、目標を達成す

るために明確にした意

思統一が必要である」と提起さ

れました。

確かに私たちの分会におい

ても、一職場における組織拡

大にとどまつており、分会全

体での取り組みになつていて

かというと、そうではないと

いう状況にあります。今後、

支部は無競争当選

2014年度の全国・東日本本部大会の代議員選挙が6月18日投票・21日開票で実施され、別記の通り代議員が決定した。（第1選挙区・盛岡市は熱海市で7月31日全国大会は熱海市で7月31日

全国5人・東日本本部7人

日から2日間、東日本本部大会も8月7日から2日間さいたま市で開催される予定になつてます。

確かに私たちの分会においても、一職場における組織拡大にとどまつております。今後、分会全体での取り組みになつていてかといふと、そうではないと

組織拡大運動をさらに進めていく上でも、分会全体、組合員一人ひとりが一人でも多くの国労組合員を増やしていくことをしっかりと心に刻み行動に移すことが大切だと思います。

それと分散会の中では、新たに国労の仲間に加わった青年組合員が国労に加入する以前の話で、組合員同士の中での会話で、その当時入っていた組合に対する不満等がかなり多く出でたといふことが報告されています。このことからも、まずは日常的に他労組に付けていくかが今後の課題です。

正社員への登用試験に合格し現行の制度では5年間の間に正社員への登用試験に合格しなければ5年を過ぎると、ほとんどの正社員と変わらない業務をしているにも関わらず雇止めになつてるのが実態です。

この様に立場の弱い方達の声に耳を傾け、国労の進める労働条件の改善、さらには希望すれば正社員になれるよう会社側に訴えかけていくことが、組織拡大に繋がる一環になると思い、決意を新たにした交流会参加となりました。

これまでの経緯などでためらいや抵抗がある方もいると思いますが、このようなことに何時までもこだわっていてはいつこうに組織拡大は進みます。日々の業務や業務以外の部分について何かしらのつながりを持ち、職場での不満や悩み等をよく聞き、働きやすい、より良い職場作りを目指す中で「国労に入らないか」と声をかけていくことがあります。極めて大切だと思います。

当分会においてGSの方が

つながりを持ち、職場での不

満や悩み等をよく聞き、働きやすい、より良い職場作りを目指す中で「国労に入らないか」と声をかけていくことがあります。極めて大切だと思います。

当分会においてGSの方が

最新のがん治療に合わせて
進化したアフラックの新しい
「がん保険」です。



新登場/
生きるための
がん保険 Days

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック(アメリカン・アーリー生命保険会社)
東京第三法人営業部

〒163-0456 新宿区西新2-1-1 新宿三井ビル

Tel 03-3344-1459 Fax 03-3344-4036

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

AF007-2011-0209 6月22日

陸前高田駅跡地は津波に流された3年前のままだった

盛岡支部は、昨年(宮古・山田地区)に引き続き「被災地巡り」として6月14日(土)に組合員26人と千葉信吉一関市議会議員の参加で大船渡線陸前高田駅跡から南気仙沼駅周辺巡りを行つた。

9時55分に岩手県交通のバスで一ノ関駅東口を出発。出

発時のあいさつで佐々木委員長は「昨年から沿岸被災地巡

りを企画してきた。内陸に住む私たちと沿岸被災地に住む

人とは同じ県民でありながら

復旧・復興の認識が違うと思

う。今さらという声もあるが

もしさないが、東日本大震災

から3年が経過し三鉄の全

区間での営業再開や街づくり

プラン策定、土地のかさ上げ

工事の開始と歩む速度は遅く

マスクミ報道されている。

工事の復旧が求められている。

マスクミ報道されている。

工事の復旧が進めていると

とも復興作業は進んでいる。

マスクミ報道されている。

マスクミ報道されている。